

日本学会会議

心理学・教育学委員会・臨床医学委員会・健康・生活科学委員会・環境学委員会
・土木工学・建築学委員会合同 子どもの成育環境分科会（第25期）

第1回 議事録

日時：令和3年1月26日（金）9時～10時

場所：オンライン会議

出席：相澤，浅野，伊香賀，大倉，神尾，神吉，斎尾，定行，都築，中坪，水口，三輪，宮地，湯川，吉野

議事内容

1. 自己紹介

水口（世話人）の司会で、委員全員が自己紹介を行った。

2. 前期（第24期）の活動紹介

第24期に発出した提言「我が国の子どもの成育環境の改善にむけて—成育空間の課題と提言2020—」を資料として、水口（第24期副委員長）と斎尾、三輪（同幹事）が前期（第24期）の活動の概要についてレビューした。

3. 今期（第25期）の設置趣旨と取り組むべき課題

第25期の分科会立ち上げの説明資料に基づき、水口（発起人）が設置趣旨を以下のとおり説明した。

「わが国では現在、子どもの外遊びやスポーツに関する安全・安心がじゅうぶん確保されていない。本分科会は、子どもの成育環境、特に子どもの傷害や死亡に関するデータ・統計の継続的な収集とその活用、地域多職種連携支援体制（遠隔支援の活用など）と行政のしくみ（傷害予防センター、成育環境改善地域コーディネーターなどの設置）、市民科学や意識・行動変容の科学に基づく効果的な情報提供と社会実装のあり方などの問題について、研究討議を行う。オープンデータ化やICT活用など近年の動向を踏まえた議論を進め、子どもの成育環境を改善するためのシステムの地域・社会実装に向けた提言を行う。」

4. 特任連携会員の推薦

水口（発起人）から山中龍宏氏（緑園こどもクリニック院長、臨床医学）と西田佳史氏（東京工業大学教授、情報学）の2名を特任連携会員として推薦することが提案され、委員から異議なく、承認された。

5. 役員を選出

水口（発起人）から山中氏と西田氏が特任連携会員として発令されるまでの間、水口（東京大学教授、臨床医学）が委員長を務めること、両氏が発令された後は山中氏が委員長、西田氏が副委員長、水口が幹事に就くことが提案され、委員から異議なく、承認された。

6. その他

委員間のコミュニケーションを円滑にするため、E メールアドレスを共有、メンバーリストを構築することが提案され、委員から異議なく、承認された。

次回の委員会は山中氏と西田氏の発令後、早期に日程調整のうえ、開催の予定。

以上